

# MCS税理士法人立川事務所通信

10月号 VOL. 122

## MCS税理士法人立川事務所

〒190-0023

立川市柴崎町 3-11-4 東京ロジテック千代田ビル 4 階

電話：042-595-7671 FAX：042-528-6949

<http://www.mcs-office.jp> [mail.info@mcs-office.jp](mailto:mail.info@mcs-office.jp)

相続専用 HP：<http://www.souzokushien110.com/>



## えんまん

遺言相続支援センター

20 世紀最大の芸術家パブロ・ピカソが生まれたのは1881年10月25日。91年間に約8万点もの作品を残したそうですが、単純計算で1日に2～3作品を制作したことになります。「若くなるには時間がかかる」という名言も残したピカソ。年齢と共にどんどん創作的になり、常に挑戦し続けた人生だったのでしょうか。

### 【個人事業主の事業承継を促進する制度】

2019年度の税制改正において個人版事業承継税制が創設されました。この制度は、事業で使用している宅地や建物などの資産に対する贈与税・相続税の全額の納税が猶予されるものです。また後継者の死亡など一定の事由が生じた場合には、猶予されている贈与税・相続税の納税の全部または一部が免除されます。

具体的には青色申告に係る事業（不動産貸付業などを除く）を行っていた事業者の後継者が、2019年1月1日から2028年12月31日までに贈与や相続などにより特定事業用資産を取得した場合に適用されます。

特定事業用資産とは、先代の事業者が事業に使用していた400平方メートルまでの宅地や床面積が800平方メートルまでの建物、自動車などの資産で、贈与や相続などが発生した年の前年分の事業所得に関する青色申告書の貸借対

照表に計上されていたものです。税金の負担を軽くする事業承継税制はすでにありますが、従来

の制度は法人の自社株に対するものであり、個人事業主を優遇する制度ではありませんでした。今回の創設により個人の事業承継が円滑に進むことが期待されます。

ただし、この制度を活用するためには年齢制限などの条件や、事前に「個人事業承継計画の提出」「経営承継円滑化法による認定」などが必要となりますので詳細についてはご相談ください。



### 【「ひとり焼肉」を楽しむ人が急増！】

家族や仲間たちとにぎやかに食べるのではなく、1人で焼肉を楽しむ人が急増しています。近年、登場した「ひとり焼肉」の専門店ではパーテーションで区切られた席に自分専用の無煙ロースターが1台、好きなメニューを好みのタイミングで焼いて食べるスタイルが好評です。水やおしぼりは席に完備され、タッチパネルで注文し会計で席を立つまで約30分と人件費を抑えたファストフード店仕様ながら、肉の種類や鮮度はこだわるといふ緩急をつけた戦略で拡大中です。



## 今月の教えてキーワード：【関係人口】

ある地域やその地域の人々に多様かつ深く関わる人の数のこと。出身者や縁戚者、仕事や用事で何度も通っているなど相当な関りがある人を指し、地域に移住した「定住人口」や観光に來た「交流人口」と区別している。地方が人口減や高齢化により地域運営の担い手不足に陥る中、地域外の人材が地域振興の担い手となることを期待されている。総務省では、関係人口の増加を目指す地方公共団体を支援するモデル事業を手掛けている。

## 【シンプルなごちそう】

優れた経営者の中には、ひそかに茶道の心得のある人が少なくないと聞きます。400年以上も続く究極のおもてなしの心として世界にも知られている茶道。その本質は、亭主（主催する人）が一期一会の精神で正客をおもてなしすることです。茶道の世界観に経営者としての道を求めるのは、ごく自然なことかもしれません。茶道の創始者ともいえる千利休が説いた茶道の在り方に「利休七則」があります。一則、茶は服のよきように点（た）て（相手の状況や気持ちを考えながら心を込めて茶を点て）二則、炭は湯のわくように置き（的確に誠実に準備を行い）三則、夏は涼しく冬は暖かに（相手が心地良いと感じるようにもてなし）四則、花は野にあるように（本質を見極め）五則、刻限は早めに（心にゆとりを持ち）六則、降らずとも雨の用意（万全に備え）七則、相容に心せよ（お互いを尊重しあう）

つまり利休七則とは人をもてなすときの心得です。今さらと思った人もいるでしょうか。まさにそんな逸話があります。ある日、弟子が茶の湯の極意を求めてきたので、千利休はこの七則で答えたそうです。すると弟子は「それくらいのこと



なら私もよく知っています」と言ったそうですが、それに対して千利休は「七則ができるなら、私はあなたの弟子になりましょう」と返したそうです。日本人は古来より「和の心」を大切にしてきました。けれど「相手のため」や「尊重しあう」といったことは、ただ自分を相手に合わせていればいいというものではありません。例えば、炊きたての白いご飯、おみそ汁、お漬け物の組み合わせはシンプルにしてある意味、最高のごちそうです。とはいえ、この3つを全て混ぜてしまったら、それぞれの味も組み合わせのバランスも台無しです。ご飯はお茶わんに、おみそ汁はおわんに、お漬け物は小鉢に入れて、それぞれの器がひとつのお膳に収まってこそ「ごちそう」です。大上段に構えなくても、身の回りに今すぐできる小さなことはありませんか。商売は「シンプルのごちそう」でありたいものですね。

念ずれば花みらく

今を生きる！

## 先人の言葉

仏教詩人である坂村真民の言葉。ただじつとお願いをしたいばうまくいくという意味ではない。何事も祈るように努力をすれば、夢や目標はかなうということだ。

## 【希望の糸】

東野圭吾の人気加賀シリーズのスピノフ的な作品です。喫茶店を営む女性が殺され、常連客の男性が容疑者となる。災害で子どもを失った彼の人生を追う若い刑事。その若い刑事の父親の話も重なって「家族」を深く考えさせられる作品です。

